

心をつなぐアート之力
第23回大分県民芸術文化祭参加行事

朝倉文夫顕彰記念

第31回 豊後大野市

アマチュア美術展



【アマチュア大賞】
絵画「dew(しずく)」
渡邊 幸生(豊後大野市)

2021.10/16(土) ▶ 11/21(日)

朝倉文夫記念文化ホール

開館時間 9:00～17:00(最終日は12:00まで)※月曜日休館

入館料 大人/200円、小中高生/無料

※朝倉文夫記念館入館者は無料

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者1人は無料

主催 豊後大野市(朝倉文夫記念館)

後援 大分県・大分県教育委員会・豊後大野市議会・豊後大野市教育委員会・大分県民芸術文化祭実行委員会・NPO法人大分県芸術振興・大分県美術協会・大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・エフエム大分・J.COM大分ケーブルテレコム

主催者賞



【優秀賞】
絵画「郊外」
河野 風大 (大分市)



【優秀賞】
絵画「時」
井上 晴空 (大分市)



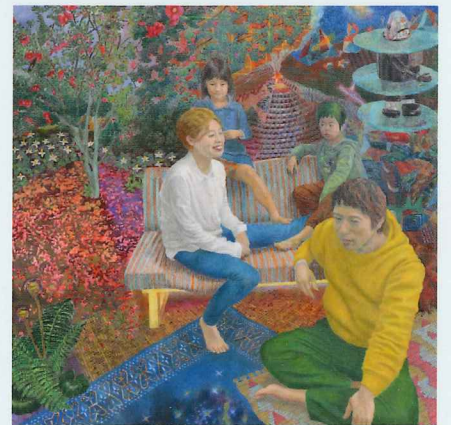
【優秀賞】
絵画「花と語る」
植木 尚子 (大分市)



【佳作】
絵画「襟裳岬の夏」
本多 依句子 (日出町)



【佳作】
絵画「古宇利島(恋島)」
園田 保博 (大分市)



【佳作】
絵画「僕に近い物語」
西角 公秀 (由布市)



【佳作】
絵画「静寂の中」
橋本 愛娜 (臼杵市)



【佳作】
絵画「存在-僕」
名古 光男 (大分市)



【佳作】
彫刻「父」
谷口 凧沙 (大分市)

特別賞

【大分県知事賞】

絵画「夏の萌し」
戸高 美和子（由布市）



【大分県教育長賞】

絵画「在るとき」
伊藤 陽子（大分市）



【豊後大野市長賞】

絵画「梅干しのパワー」
中村 律子（大分市）

【豊後大野市教育長賞】

工芸「灯」
甲斐 雅教（豊後大野市）



【大分県芸術文化振興会議理事長賞】

絵画「なんの実？」
石堂 輝美（津久見市）

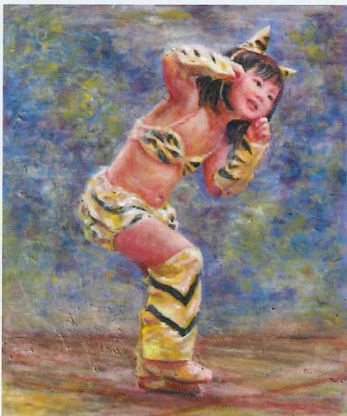


【豊後大野市議会議長賞】

絵画「ACE of CUPS」
平田 ますみ（豊後大野市）

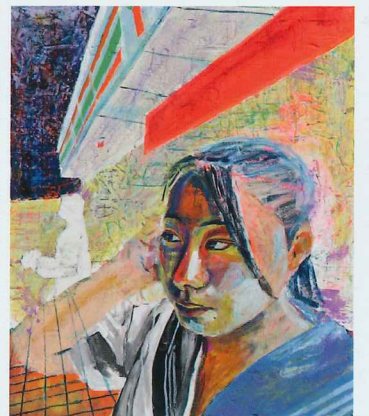
【大分合同新聞社賞】

絵画「お遊戯会の孫」
村田 ひとみ（津久見市）



【TOSテレビ大分賞】

絵画「チャージ」
中村 羽秋（大分市）



【OBS大分放送賞】

絵画「波動」
井上 寧音（佐伯市）



【エフエム大分賞】

絵画「海辺の便り」
阿南 聖子（大分市）



【OAB大分朝日放送賞】

工芸「心に癒し」
甲斐 梅子（豊後大野市）



第31回 応募状況

【出品点数】

絵画…116点(前回133点)

油彩画51点、水彩画28点、
アクリル画20点、日本画15点、
パステル画1点、色鉛筆画1点、

彫刻…3点(前回2点)

アクリル樹脂、木、金属、各1点

工芸…7点(前回4点)

陶芸4点、木竹工芸3点

【年代別】

10代	10人
20代	1人
30代	1人
40代	3人
50代	6人
60代	36人
70代	51人
80代	16人
90代	2人
計	126人

【住所別】

宇佐市	6人
臼杵市	3人
大分市	65人
杵築市	8人
国東市	7人
佐伯市	1人
津久見市	10人
中津市	1人
日出町	1人
豊後大野市	13人
豊後高田市	3人
別府市	2人
由布市	6人
計	126人

第31回豊後大野市アマチュア美術展を審査して

【絵画の部】

今回は、16歳から92歳までと幅広い年齢の方からの応募があったが、中でも高校生の活躍がめざましく、将来が楽しみな結果となった。また、出品作品はどれも対象を通じて自分とよく向き合っており、甲乙付けがたく審査に時間を要した。

何気ない日常の一部をうまく絵に落とし込み、楽しんで気持ち良く描けている良い作品が多かった。楽しみながら制作をしていく中で技術を身につけ、見る人の心に響く豊かな作品が増えることを期待する。上位4作品の個評は次のとおり。

大賞「dew(しずく)」

大きな形と白黒の強い対比で構成されている一方、中間色を上手く使っており、訴えかけてくるものがある作品。

優秀賞「郊外」

画面構成が手慣れている。

リズム感ある色の配置と面白い構成のなかにもやさしさが感じられる作品。

優秀賞「時」

心理的な自画像に、象徴的に描かれた黒いシルエットが加わり斬新でおもしろい作品。

優秀賞「花と語る」

筆のタッチが爽やかで気持ち良く描けている。

何気ない風景を楽しんで描いているのが伝わってくる作品。

【彫刻・工芸の部】

工芸部門は少し増えたものの、足がかりの少なさ・初期投資の高さからか、応募数は依然として少ない。具象彫刻の基礎的な表現である胸像が出品されたことはよかった。陶芸はよりシンプルな表現を期待する。

審査員 日名子 金一郎 (前大分県美術協会会長)
合 田 習 一 (大分アジア彫刻展審査委員)